

令和4年度
定時社員総会議案書

日 時 令和4年6月11日(土) 13時30分

会 場 大阪府社会福社会館

公益社団法人 大阪介護福祉士会

公益社団法人大阪介護福祉士会
令和4年度定時社員総会議事次第

日時：令和4年6月11日（土）

13時30分

場所：大阪府社会福社会館

- 1 会長挨拶
- 2 議長・副議長選出
- 3 開 会
- 4 議事録署名人指名
- 5 議案審議

第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件（案）

第2号議案 令和3年度決算報告の承認の件（案）

第3号議案 定款変更の件（案）

- 6 報告事項
（1）その他
- 7 閉 会

<記念講演>

「個別支援計画を考える ～ユニットケアの取り組みを通して～」

時間：15時15分～16時45分

講師：一般社団法人日本ユニットケア推進センター
センター長 佐橋 麻理子 氏

【第1号議案】 令和3年度事業報告の承認の件（案）
令和3年度事業報告

（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

令和3年度は年度開始から新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中でのスタートとなりました。緊急事態宣言が発出され不安な中で会員の皆様は介護実践を展開されてこられましたことに敬意を表します。本会も7月から研修を開始しましたが、開始前から研修終了に至るまで、感染対策を徹底し研修受講者が安心して受講できる環境に最後まで努めました。

次年度はオンラインを活用しての研修実施の整備も進めていきたいと思っております。

I 法人業務（総会・理事会・各種会議）

1. 法人運営

（1）理事会

令和4年度第1回理事会 令和4年5月15日
令和元年度事業報告及び収支決算の承認
定款変更
諸規程制定
定時社員総会の開催並びに決議事項等

令和3年度第4回理事会 令和4年3月17日
令和4年度事業計画
令和4年度事業予算
賛助会員の承認

（2）定時社員総会

定時社員総会 令和3年6月15日
令和2年度事業報告及び収支決算の承認

（3）三役会・運営委員会

①三役会

4月4日・5月9日・6月9日・7月9日・8月13日・9月10日
10月8日・11月12日・12月10日・1月14日・3月11日

②運営委員会

4月26日・5月23日・6月16日・7月28日・8月25日・9月22日
10月27日・11月24日・12月22日・1月26日・2月22日・3月23日

公的委員の依属状況【順不同】

団体名	
大阪府高齢者保健福祉計画推進審議会委員	浅野幸子
大阪府国民健康保険団体連合会	浅野幸子
大阪府介護保険審査会委員	浅野幸子、鎌田勝二、吉田弘樹
大阪府災害福祉広域支援ネットワーク	浅野幸子
大阪府社会福祉協議会評議員	浅野幸子
大阪府社会福祉協議会運営適正化委員会	浅野幸子
大阪府福祉人材センター運営委員会	浅野幸子
大阪市社会福祉審議会委員	浅野幸子
大阪市社会福祉研修・情報センター運営委員会	浅野幸子
大阪市社会福祉人材養成連絡協議会	浅野幸子
公益社団法人大阪社会福祉士会理事	浅野幸子
公益社団法人大阪介護支援専門員協会理事	森本芳子
公益社団法人大阪府看護協会地域包括ケア委員会	浅野幸子
大阪市社会福祉研修・情報センター作業部会	浅野幸子
大阪医療秘書福祉専門学校教育課程編成委員会	浅野幸子
大阪府災害派遣福祉チーム（大阪 DWAT）	浅野幸子、重松義成、谷岡綾子、西尾いづ穂、飯田昌一、納忍、
	吉田直人、中村由香、野崎勝、坂上衣理加、渡部貴司子、
	池田奈津子
介護認定審査会(大阪市都島区)	青柿昌子、荒木大輔、今岡望
介護認定審査会(大阪市北区)	浅野幸子、重松義成
介護認定審査会(大阪市西淀川区)	渡部貴司子
介護認定審査会(大阪市阿倍野区)	中塚真佑香、松永貴志子、阪本健
介護認定審査会(大阪市淀川区)	磯崎千景、兎本尚紘
介護認定審査会(堺市)	森下敬子、阿波野達也、寺尾昌也、納忍、西尾いづ穂
	湊端しおり、山口淳子、小関明子
介護認定審査会(東大阪市)	黒田浩二、巽行正、木村健一、廣里安治、金谷恵子
	法橋幸子、田中貴義、河邊正裕、松葉修孝、前田元気
介護認定審査会(忠岡町)	松本浩行、藤島維仁
障害区分認定審査会(堺市)	松坂直哉、野崎勝、渋谷光美、山根奈美

II 各部事業報告

1 組織部

専門職能団体として、社会的地位の向上を図るため、広く府民に介護に関する情報提供を行い、介護及び介護福祉士の啓発に努めるとともに、会員の入会促進等を図りました。

(1) 会員拡大への取り組み

コロナ禍により令和3年度も施設や事業所へ訪問することが難しい状況であったため、電話やメールなどを活用し、理事、会員、事務局の協力を得て、新規会員獲得に努めました。

また、本会主催の研修やイベント等では入会案内を随時行い、入会時からの研修受講料の会員割引を実施し入会促進に努めました。

本年度はホームページをリニューアルし研修募集は分かりやすく示し、賛助会員施設・事業所の求人募集を掲載することでコロナ禍の人材不足が深刻化する賛助会員施設への協力が少しでもできればとの思いで取り組みました。また、下半期は大阪介護福祉士会としてのパンフレットを作成し本会推奨のキャリアパスモデルを示すことにより、介護福祉士へはキャリアアップへつなげ、府民へは専門職能団体としての本会活動の周知の一助となるようパンフレット作成しました。

	正会員数	新規入会者数	賛助会員数	個人賛助会員数
計 画	2,200名	200名	100団体	10名
実 績	2,238名	231名	71団体	5名

※1)実績数は令和4年3月31日現在の正会員数及び賛助会員数

※2)大阪府の介護福祉士資格取得者数は129,655名で本会加入率は約 1.7%

(2) 推進委員登録活動

コロナ禍により、緊急事態宣言や蔓延防止期間なども重なり、推進委員の活動が困難と判断し、今年度は休止となりました。

(3) 本会の府民への周知活動

府民に対して、本会の活動をより広く知って頂くため、本会公式ホームページや Facebook などの SNS を随時更新し、介護サービスの最新情報や本会の活動内容等を広く発信しました。

また認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る優しい地域づくりを目指す「認知症キャラバンメイト養成研修」を大阪府と共催で実施しました。

(4) 社会福祉施設や介護福祉士養成校・各種職能団体等との連携・協力

今年度もコロナ禍のため、社会福祉施設や養成校・各種職能団体との連携・協力を図ることが難しく感染予防に留意しながら規模を縮小し入会説明を行いました。その中で初の試みとし

て ZOOM を活用したリモート説明会を実施しました。併せて賛助会員の案内も行い、新たな連携協力体制の構築に努めました。

(5) バリアフリー展への参画・「介護の日」普及啓発事業等の開催

例年出展している「バリアフリー展」が本年度8月に開催され、本会も会員さんと理事が協力・連携のもと参画しました。縮小された中ではありましたが、「看取り」のセミナーを実施、福祉・医療関係者だけではなく一般の方の参加もあり、看取りについての関心も高く、参加者からは「看取りや死」への意識が変わったという声を多くいただきました。

11月には「介護の日」の普及啓発事業を実施。イベントでは「外国人スタッフ・留学生に聞く」と題して、自国と日本の文化の違いや実際に働いて感じたこと等をディスカッションスタイルで開催しました。質疑応答では様々な質問もあり、介護現場も多文化共生を留意のうえ介護実践に取り組む必要性を感じた時間でした。

(6) 年会費未納者への取り組み

会員継続のための会費納入依頼を郵送及び電話連絡にて適宜行いました。

□総括

令和3年度の活動も感染対策を意識してのスタートとなりました。積極的に施設へ行くことも難しい状況の中、会員拡大への取り組みをどのように進めていくか話し合い、事業部とも連携協力のうえ、全ての研修時に入会申込ができるQRコードを掲示して年間を通じて入会促進を実施しました。課題もありましたが、困難な中どのようにして進めていくのか。待ちの姿勢ではなく進みながら考える、そして行動することで不安な状況をプラスに変えていけたことに手ごたえを感じました。

新たな取り組みとしてリモートによる入会説明やパンフレットの作成にも着手しました。ますます専門職としての質の向上が求められる介護福祉士ですが、多文化共生社会に突入し外国人介護福祉士も年々増加傾向です。共に介護福祉士の礎となる知識や技術を学び、研修などを通じて日々自己研鑽していくためにも、外国人介護福祉士に職能団体に加入する必要性を説いていくことも重要だと考えます。また、今年度も大阪府との共催で「認知症キャラバンメイト養成研を実施しました。一般の参加も多く、認知症への意識の高さを感じました。次年度も会の周知活動の場としても積極的にPRしていきます。

2 支部活動

令和3年度は新型コロナウイルス感染蔓延防止のためすべて中止しました。

令和4年度は更なる研修の充実や会員同士の交流を図れる取り組みを行い、会員にとって実りある支部活動の運営を行います。

3 事業部

(1) 公益事業

①ファンデーション研修

1日	①令和3年10月12日	②令和3年10月28日	③令和3年10月16日
コース	④令和3年11月20日	⑤令和3年12月18日	⑥令和4年3月11日
半日	①令和3年11月25日	②令和4年2月10日	③令和4年2月11日
コース	④令和4年2月26日		
1単位	①令和3年9月25日	②令和3年10月7日	③令和3年10月13日
コース	④令和3年10月19日		
延受講者数	86名	受講場所	大阪府社会福祉会館
<p>講師：生活介護研究所 福野初夫氏、株式会社かんでんジョイライフ 管理者 谷岡綾子氏 公益社団法人大阪社会福祉士会 副会長 矢島繁一氏、大阪介護福祉士会 会長 浅野幸子 大阪介護福祉士会 副会長 重松重成、大阪介護福祉士会 理事 西尾いづ穂、前田元気（順不同）</p>			

② ファーストステップ研修（全15日）

日 程			受講申込者数
①令和3年11月21日	②令和3年11月22日	③令和3年12月7日	9名
④令和3年12月8日	⑤令和3年12月23日	⑥令和4年1月7日	延受講数
⑦令和4年1月22日	⑧令和4年1月23日	⑨令和4年2月15日	78名
⑩令和4年2月16日	⑪令和4年3月4日	⑫令和4年3月5日	修了者
⑬令和4年3月26日	⑭令和4年3月27日	⑮令和4年4月16日	9名
実施場所	大阪府社会福祉会館、大阪市社会福祉研修・情報センター		
<p>講師：大阪人間科学大学人間科学部 准教授 土肥茂幸氏、ホッとスペース中原 代表 佐々木炎氏 兵庫大学生涯福祉学部 教授 小倉毅氏、株式会社かんでんジョイライフ 管理者 谷岡綾子氏 同朋大学社会福祉学部 准教授 牛田篤氏、公益社団法人大阪社会福祉士会 副会長 矢島繁一氏 特別養護老人ホーム松寿苑 施設長 石原正三千氏、あおば社会保険労務士法人 社会保険労務士 新井淳子氏 小規模多機能居宅介護支援事業所心 理事長 村田美穂子氏、同朋大学社会福祉学部 教授 下山久之氏 一般社団法人介護福祉士と歩む会 代表 廣山初江氏、ケア研究会 PAD Lab.(パッドラボ) 代表 土井敏之氏 大阪介護福祉士会 会長 浅野幸子（順不同）</p>			

③介護福祉士実習指導者研修（年3回）

日 程		
第1回	第2回	第3回
①令和3年7月25日	①令和3年10月6日	①令和4年2月13日
②令和3年8月3日	②令和3年10月21日	②令和4年2月14日

③令和3年8月12日	③令和3年11月15日	③令和4年3月4日
④令和3年9月3日	④令和3年12月8日	④令和4年3月13日
⑤令和3年9月7日	⑤令和4年1月12日	⑤令和4年3月14日
受講申込者数： 32名	受講者申込数： 16名	受講申込者数： 21名
延受講者数： 146名	延受講者数： 66名	延受講者数： 97名
修了者数： 27名	修了者数： 15名	修了者数： 19名
実施場所	大阪府社会福祉会館、大阪市社会福祉研修・情報センター	
講師：同朋大学社会福祉学部 准教授 牛田篤氏、池谷美紀氏、大阪介護福祉士会 会長 浅野幸子 大阪介護福祉士会 副会長 重松義成、大阪介護福祉士会 理事 保倉寿子（順不同）		

④認知症介護実践者研修（年2回）

日 程			
第1回		第2回	
①令和3年7月15日	⑤令和3年8月3日	①令和3年11月25日	⑤令和3年12月20日
②令和3年7月19日	⑥令和3年8月12日	②令和3年11月30日	⑥令和4年1月10日
③令和3年7月26日	⑦令和3年8月31日	③令和3年12月6日	⑦令和4年1月27日
④令和3年7月29日	⑧令和3年9月15日	④令和3年12月11日	⑧令和4年2月12日
受講者数	66名	受講者数	60名
延受講者数	516名	延受講者数	445名
修了者数	65名	修了者数	46名
実施場所	大阪府社会福祉会館、大阪市社会福祉・研修情報センター		
認知症介護指導者：市村真由美氏、小山雄亮氏、土井敏之氏、引野好裕氏、福井梨恵氏、水島知絵氏、村上宏三氏 矢野由枝氏、吉川洋子氏、（順不同）			

⑤認知症介護実践リーダー読み替え研修（年1回）

日 程	令和4年1月17日	受講者数	6名
実施場所	大阪府社会福祉会館		
講師：社会福祉法人聖徳会 クリニックいわた 医師 安井敏裕氏			

⑥介護教員講習会（全40日）

日 程			
①令和3年10月16日	②令和3年10月17日	③令和3年10月23日	④令和3年10月24日
⑤令和3年10月29日	⑥令和3年10月30日	⑦令和3年11月6日	⑧令和3年11月7日
⑨令和3年11月21日	⑩令和3年11月22日	⑪令和3年12月5日	⑫令和3年12月6日

⑬令和3年12月19日	⑭令和3年12月20日	⑮令和3年12月27日	⑯令和3年12月28日
⑰令和4年1月6日	⑱令和4年1月7日	⑲令和4年1月8日	⑳令和4年1月9日
㉑令和4年1月28日	㉒令和4年1月29日	㉓令和4年2月20日	㉔令和4年2月21日
㉕令和4年2月27日	㉖令和4年2月28日	㉗令和4年3月4日	㉘令和4年3月5日
㉙令和4年3月13日	㉚令和4年3月14日	㉛令和4年3月26日	㉜令和4年3月27日
㉝令和4年4月9日	㉞令和4年4月10日	㉟令和4年4月22日	㊱令和4年4月23日
㊲令和4年5月7日	㊳令和4年5月8日	㊴令和4年5月28日	㊵令和4年5月29日
受講者数	15名	延受講者数	138名
修了者数(予定)	3名	延聴講者数	7名
実施場所	大阪市社会福祉研修・情報センター		
<p>講師：兵庫大学生涯福祉学部 教授 小倉毅氏、同志社大学社会学部 教授 小山隆氏 大阪人間科学大学人間科学部 教授 岡田雅樹氏、関西学院大学 名誉教授 安井宏氏 C&L 法律事務所 弁護士 豊川義明氏、C&L 法律事務所 弁護士 佐々木章氏 日本生活支援学会 会長 黒澤貞夫氏、神戸女子大学文学部 教授 三宅茂夫氏 大阪人間科学大学人間科学部 教授 須河内貢氏、同朋大学社会福祉学部 准教授 牛田篤氏 大阪人間科学大学人間科学部 教授 武田卓也氏、大阪人間科学大学人間科学部 准教授 土肥茂幸氏 同朋大学社会福祉学部 教授 下山久之氏、大阪介護福祉士会 副会長 重松義成 (順不同)</p>			

⑦サービス提供責任者研修(全3回)

日程	令和4年1月24日	令和4年2月22日	令和4年3月16日
受講者数	10名	延受講者数	23名
修了者数	7名	実施場所	大阪市社会福祉研修・情報センター
<p>講師：宮城県介護福祉士会 会長 雫石理枝氏、大阪介護福祉士会 副会長 重松義成 大阪介護福祉士会 会員 今岡望 (順不同)</p>			

(2) 収益事業

①介護福祉士国家試験受験直前対策講座

日程	①令和3年12月18日	受講者数	19名
	②令和4年1月10日		21名
実施場所	大阪府社会福祉会館		
<p>講師：森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール 教務主任 小林彩能氏、大阪介護福祉士会 副会長 重松義成</p>			

②介護福祉士全国一斉模擬試験

日程	令和3年12月5日	受講者数	42名
実施場所	大阪府社会福祉会館		

(3) 委託事業

潜在介護福祉士等 再就業支援研修

開催都市	日程			
大阪市	①令和3年7月9日	②令和3年7月13日	③令和3年7月21日	
	④令和3年7月27日	⑤令和3年7月30日	受講者数	7名
	実施場所	大阪府社会福祉会館		修了者数 4名
吹田市	①令和3年8月4日	②令和3年8月18日	③令和3年8月26日	
	④令和3年9月1日	⑤令和3年9月8日	受講者数	4名
	実施場所	岸辺市民センター		修了者数 4名
八尾市	①令和3年11月2日	②令和3年11月9日	③令和3年11月16日	
	④令和3年11月24日	⑤令和3年12月2日	受講者数	4名
	実施場所	八尾市生涯学習センターかがやき		修了者数 2名
堺市	①令和3年11月27日	②令和3年12月4日	③令和3年12月10日	
	④令和3年11月24日	⑤令和3年11月25日	受講者数	5名
	実施場所	サンスクエア堺		修了者数 4名
<p>講師：ウェル・ネット研究所 株式会社、社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会、株式会社 シルバーウッド 株式会社 パソナ、大阪介護福祉士会 会長 浅野幸子、大阪介護福祉士会 副会長 重松義成 大阪介護福祉士会 理事 渡部貴司子、前田元気、大阪介護福祉士会 会員 喜多至珠、小関明子（順不同）</p> <p>協力施設：社会福祉法人 健成会 特別養護老人ホーム加賀屋の森、社会福祉法人 邦寿会 特別養護老人ホーム高殿苑 社会福祉法人 隆生会 特別養護老人ホームゆめあまみ、社会福祉法人 寿楽福祉会 特別養護老人ホーム寿楽荘 社会福祉法人 慶徳会、社会福祉法人 大阪府済生会吹田医療福祉センター 特別養護老人ホーム高寿園 社会福祉法人 久義会 特別養護老人ホーム高秀苑、社会福祉法人 みささぎ会 藤井寺特別養護老人ホーム 社会福祉法人 おおとり福祉会 朗友館、社会福祉法人 桜会 特別養護老人ホームグリーンハウス 社会福祉法人 みささぎ会 特別養護老人ホーム大仙もずの音（順不同）</p>				

(4) 補助事業

外国人介護人材受入支援事業（日本人指導者向け）

開催都市	日程			
大阪市	①令和4年1月19日	②令和4年2月4日	③令和4年3月2日	
	④令和4年3月25日	受講者数	17名	修了者数 7名
	実施場所	大阪府社会福祉会館		

枚方市	①令和4年1月12日	②令和4年2月10日	③令和4年2月25日		
	④令和4年3月24日	受講者数	4名	修了者数	1名
	実施場所	枚方市総合文化芸術センター			
八尾市	①令和4年1月14日	②令和4年2月2日	③令和4年2月25日		
	④令和4年3月18日	受講者数	4名	修了者数	0名
	実施場所	八尾市生涯学習センターかがやき			
堺市	①令和4年1月21日	②令和4年2月9日	③令和4年2月18日		
	④令和4年3月15日	受講者数	5名	修了者数	2名
	実施場所	サンスクエア堺			

外国人介護人材受入支援事業（外国人向け）

開催都市	日 程				
大阪市	①令和4年1月18日	②令和4年2月3日	③令和4年3月1日		
	④令和4年3月25日	受講者数	3名	修了者数	3名
	実施場所	大阪府社会福祉会館			
講師：学校法人 YMCA 日本語教育センター センター長 亀田美穂、池谷美紀氏、大阪介護福祉士会 会長 浅野幸子 大阪介護福祉士会 副会長 重松義成、大阪介護福祉士会 理事 西尾いづ穂、渡部貴司子 大阪介護福祉士会 会員 荒木大輔、河邊正裕、小関明子、巽正行、矢部賢太（順不同）					

（5）その他の事業

①単発研修

	日 程		
感染症	①令和3年10月5日	②令和3年11月24日	③令和4年2月17日
認知症	①令和3年11月18日 午後		②令和3年12月15日 午後
身体拘束 虐待	令和4年1月27日		
看取り	令和3年12月9日		
延受講者数	41名		
実施場所	大阪市社会福祉研修・情報センター、大阪府社会福祉会館 八尾市サポートボランティアセンター		
講師：ホットスペース中原 代表 佐々木炎氏、ケア研究会 PAD Lab.(パッドラボ) 代表 土井敏之氏 社会福祉法人 成光苑 高槻けやきの郷 引野好裕氏 社会福祉法人 五領・上牧地域包括支援センター 福井梨恵氏、大阪介護福祉士会 副会長 重松重成（順不同）			

□ 本年度の総括

(中止・延期となった研修)

- ・実習指導者講習会フォローアップ研修

令和3年度は介護福祉士の生涯研修体系に基づいた研修と大阪介護福祉士会独自の研修を公益事業と収益事業として実施しました。未だ続くコロナ禍において研修会場を確保し、感染対策を実施しながら対面式で行いました。その結果、受講申込人数が開講の定員に至らず上記のように研修を中止・延期しなければならないものもありました。

令和3年度各種研修会等への参加をいただきありがとうございました。公益事業として、「介護福祉士実習指導者講習会」を3回実施、多くの会員が研修を受講しやすいよう科目単位制を活用した基本研修にあたる「ファンデーション研修」を「1日コース」「半日コース」「1単位コース」とわけ、職場のリーダー育成を目的とした「ファーストステップ研修」や「認知症介護実践者研修」を実施しました。「介護教員講習会」は、全40日間実施し、働きながら介護教員をめざす方など、科目を選択し各自のペースで受講していただきました。本年度の取り組みとして、多くの会員に質の高い研修を体験していただきたく、介護教員講習会聴講制度を設けました。その結果数名の会員の聴講がありました。訪問介護事業所において介護の質の向上のため「サービス提供責任者研修」単発研修として会員のニーズに即した「感染症」「認知症」「看取り」「身体拘束・虐待」を開催しました。

収益事業としては、「介護福祉士国家試験受験直前対策講座」、「介護福祉士全国一斉模擬試験」を開催しました。

委託事業では、大阪府民880万人の福祉を支える人材を確保するため、介護の仕事から離れている介護福祉士等が「現場復帰をしやすい」「やりがい」「社会的使命」を感じてもらうための「潜在介護福祉士等」の研修を行いました。

補助事業では、外国人介護従事者が日本国内の介護現場においてスムーズに就職し、快適に働けるよう、コミュニケーション技術や介護の日本語、文化や習慣、介護技術についての研修として、「外国人介護人材受入支援事業（外国人向け）」を開催しました。また、日本人指導者向けに最新の介護技術などの演習も織り交ぜて「外国人介護人材受入支援事業」を開催しました。

その他事業では令和2年度から大阪市より委託を受けた、訪問介護の実地指導について令和4年1月より徐々に開始し、大阪市と連携を行いながら実施しました。

今後の取り組みとして、コロナウイルス感染対策を講じた、対面式の研修を継続して開催するとともに、ZOOM等を活用したオンライン形式の導入も進めてまいります。研修等案内についてはできる限り早期に周知し、多くの会員等に受講していただけるよう努めてまいります。公益事業の運営と介護福祉士、府民の皆様のニーズにマッチした研修や収益事業に取り組んでまいります。

4 調査研究部

今年度の運営方針に沿って、各種調査研究やアンケートを実施し、介護福祉士の現状の把握を行いました。

(1) 重点項目

重点項目の実態調査については、各種研修会で実施したアンケート集計を順次ホームページ上で公開しました。また、書籍・資料の管理・提供については、適時購入を行い、充実を図るとともに、書籍貸し出しについては、新刊書籍の案内とともに本会ホームページにより情報発信を行いました。今後も研修の充実を図り、会員の自己研鑽ができるように促進していきます。広報誌を年2回刊行し、定期的に会員への情報提供を実施しました。また、一般市民向けにホームページ等で記事内容を掲載し、広く啓発普及に努めました。

(2) 調査研究入門（質的入門）

昨年度の「事例研究勉強会」全5回を引き継ぐ形で実施しました。学会発表を目指して学びを進めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり学会発表までは至りませんでした。今後も学びを進め、多くの会員が調査・研究に積極的に取り組めるように支援を行います。

はじめて学ぶ研究方法～事例研究の基本～

講師	井口 知也 氏 大阪府作業療法士会 学術部代表	延受講者数：14名
開催場所	大阪府社会福祉会館	
第1回目	令和3年12月9日 「事例研究方法の理解」	
第2回目	令和4年1月13日 「事例研究の組み立て」	
第3回目	令和4年2月10日 （新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ延期）	

(3) 本年度の総括

昨年度に引き続き、一般社団法人大阪府作業療法士会の協力のもと、12月より「調査研究入門」「質的研究」を開催し根拠に基づく介護実践方法に取り組みました。また昨年度の総括を受け今年度は「量的研究入門」の研修開催を予定していましたが、蔓延防止措置の宣言により、実施することができませんでした。

アンケート調査については事業部と連携して、令和3年度よりGoogleフォームを活用し、より答やすく、集計分析もスムーズにおこなえるように取り組みました。

今後の取り組みとしては、会員に向けて調査研究の必要性を啓発するとともに、介護人材の定着と質の高い介護福祉士の育成に取り組み、それと同時に会員の調査研究に対する意識の醸成や、会員とともに介護研究を進めることができる体制づくりを目指します。

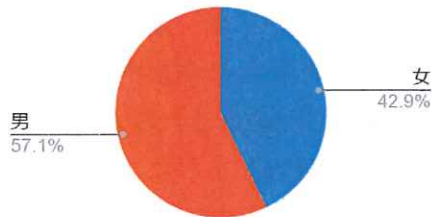
広報活動として、ハーティを2回発行し府民や会員に向けて情報を発信しました。

《調査報告》 令和4年度大阪介護福祉士会アンケート集計

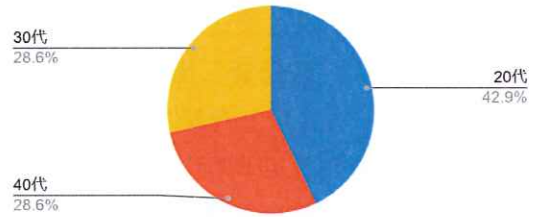
□ファンデーション研修

I. 令和3年11月20日「災害」

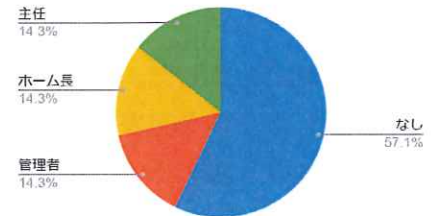
「性別」



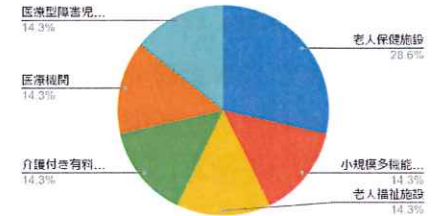
「年齢」



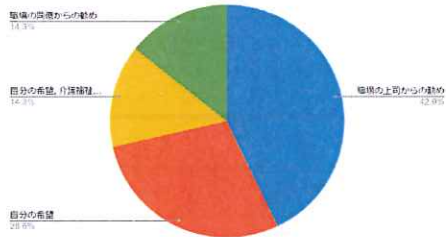
「役職」



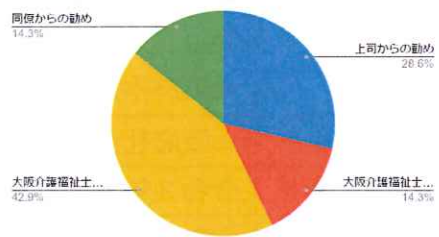
「所属現場」



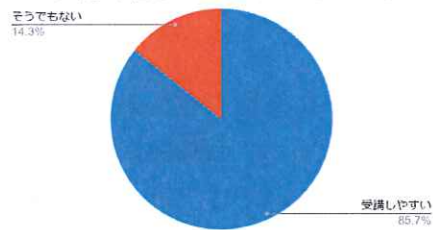
「受講の動機」



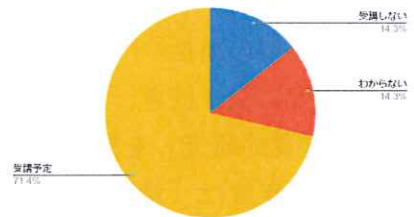
「この研修をどのように知りましたか。」



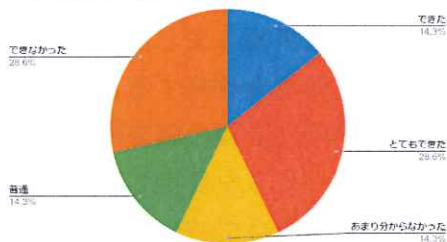
「基本研修単位制は受講しやすいですか。」



「今後ファーストステップ研修は受講予定ですか。」



「今日の研修は理解できましたか。」



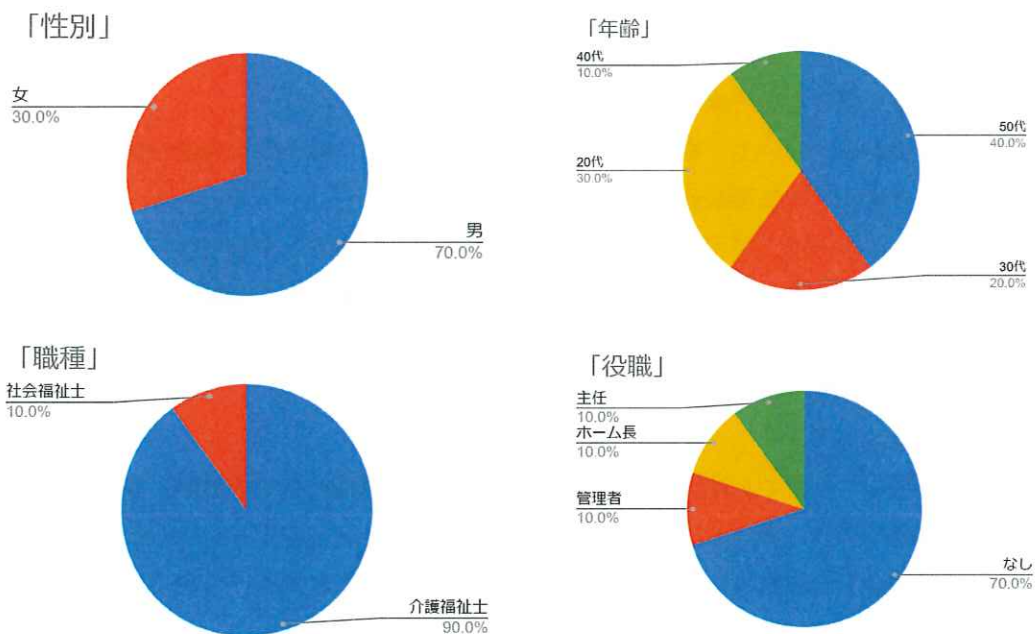
問. この研修で学んだこと、印象に残ったことについて教えてください。

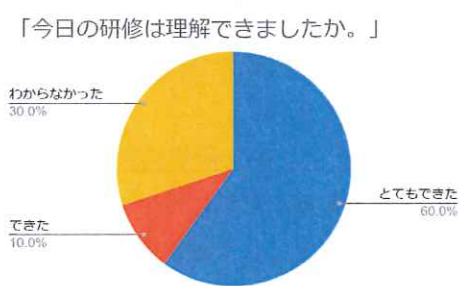
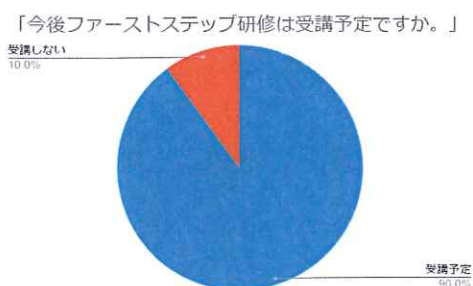
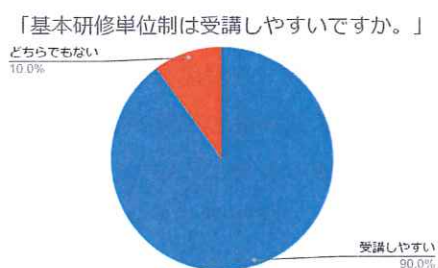
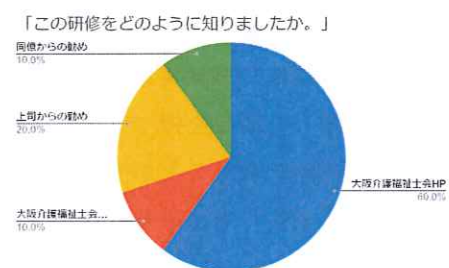
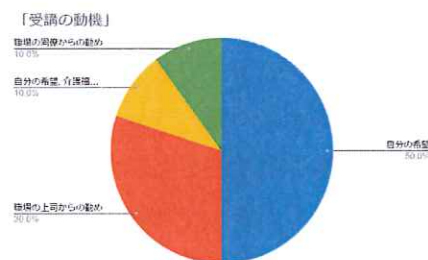
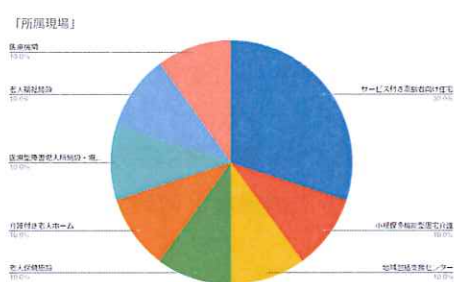
- ・災害ボランティアでも、介護の基本が必ず必要であること。
- ・ボランティアの話
- ・災害対策の必要性をもてました。無関心が1番怖いという言葉も身に染みる思いでした。
- ・日ごろからの備えや意識が大事だと勉強出来ました。特に地震など何時発生するかわからない災害の対応は特に意識が大事だとわかりました。
- ・災害時の被災地、避難所での生活が具体的に知れた。
- ・今回の研修で学んだことは基本的な知識、技術、対応力が必要とされる。また、日々いつ災害が起きても対応できるように自施設でのマニュアル作成や訓練実施。同時に備えておくべき必要物品の準備が必要になってくる。災害時に関して関心を持つことも大切である。印象に残った点について、講師の方の被災地支援の実体験を聞くことができ、写真を通して講義して頂きとても分かりやすく勉強になりました。当院でも、取り入れたい内容もあり、受講できて良かったです。
- ・普段から災害に関することを頭に置いて仕事しないと行けないんだと思った。もし自分が夜勤の時に何かあったらじぶんなら動く事ができるのかと、不安になった。

問. ファンデーション研修に対するイメージやその他ご要望などを教えてください。

- ・シフト希望がだしにくいので出せたら受けたいです
- ・介護福祉士としての専門性を高める為の研修

II.令和3年11月20日「記録と報告」





問.研修で学んだこと、印象に残ったことについて教えてください。

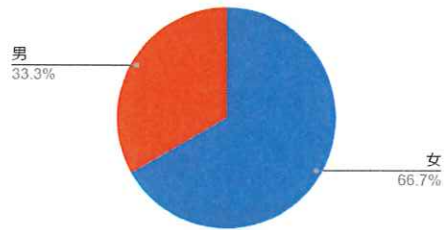
- ・ 自施設でのマニュアルと訓練の確認の重要性、エアーストレッチャー
- ・ 楽しく最後まで学びました。記録の書き方、ポイントと言うよりも、書くための動機づけと言うような点でしたので楽しかったです。
- ・ 個人の心情を書かないことを前提とする事業所が多いが、本当は介護する側の想いも記載があれば、今後のケアに活かせるということ。
- ・ 記録を書くためには、気づきが大事で、気づきを作るシステムが必要という事。他の人にも気づきを共有するため記録が大事。共有ができるような書き方を心掛ける。
- ・ 記録もただ単に書くのではなく、一人一人違う視点で書くと言うことを忘れずに書かないと行けないんだと思った
- ・ エアーストレッチャー
- ・ 今回の研修で学んだことは気づきの力が重要であり、記録記載をする際、誰が見ても分かりやすい表現で記録することにより、より良い介護、ケアが実現することがわかった。また、印象に残る場面は研修方法がただ講義を聞くだけではなく参加型のものでより理解を深めることができた。

問. ファンデーション研修に対するイメージやその他ご要望などを教えてください。

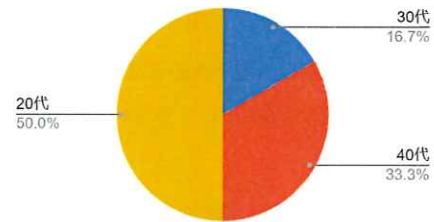
・介護福祉士としての専門性を高める研修

Ⅲ.令和 3 年 12 月 18 日「介護過程」

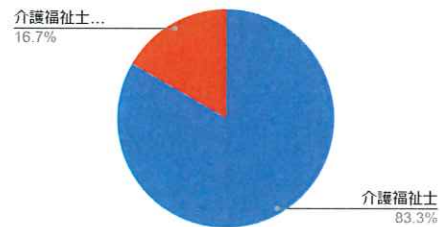
「性別」



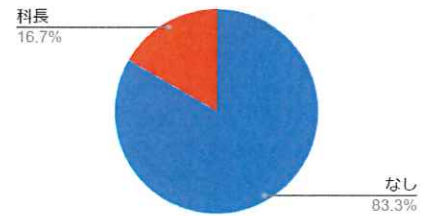
「年齢」



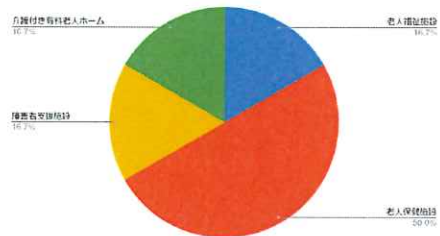
「職種」



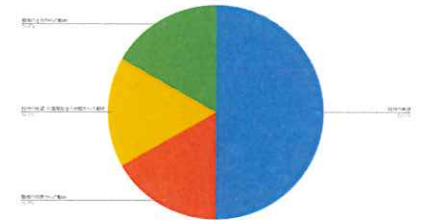
「役職」



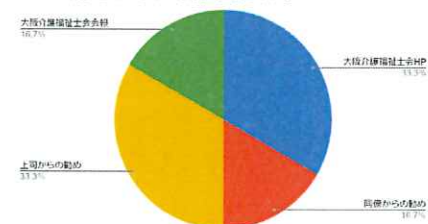
「所属現場」



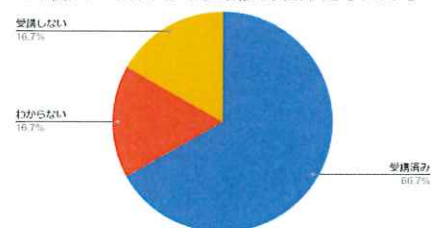
「研修の動機」



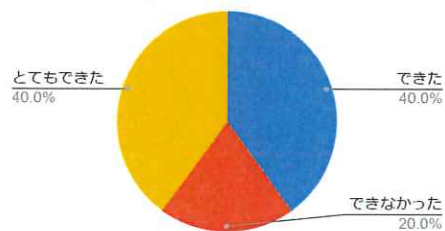
「この研修をどのように知りましたか。」



「今後ファーストステップ研修は受講予定ですか。」



「今日の研修は理解できましたか...」



問. この研修で学んだこと、印象に残ったことについて教えてください。

- ・ ICF について苦手意識がありましたが、講義の内容ももちろんですが、DVD でもわかりやすく、理解が深まりました。
- ・ 大変勉強になりました。自施設では個別計画書がないので、取り組みを始めたいと考えています。難しい領域ではありますが、介護の面白さを感じることができると思います。
- ・ 介護福祉士の専門性。その人らしく生活できるよう支援するために介護過程が大事だという事。介護過程を展開していくためには情報収集が必要。そのためには...と全てが繋がっていて、それが根拠に、専門性になるという事。
- ・ アセスメント能力を向上したいと思いました。

問. ファンデーション研修に対するイメージやその他ご要望などを教えてください。

- ・ ファンデーション研修を修了した後になんの研修を受けたら良いのかが分かりにくい。
- ・ 介護福祉士、専門職としての知識を補うための研修。ファーストステップ研修を受ける前の基礎の研修。

【第2号議案】 令和3年度決算報告の承認の件（案）

貸借対照表

令和4年3月31日現在

公益社団法人大阪介護福祉士会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	3,282,157	2,981,383	300,774
未収入金	5,361,189	2,229,414	3,131,775
預け金	15,000	20,000	△ 5,000
前払費用	16,625		16,625
仮払金	53,694		53,694
流動資産合計	8,728,665	5,230,797	3,497,868
2. 固定資産			
(1)基本財産			0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
什器備品	8	8	0
差入保証金	89,000		89,000
その他固定資産合計	89,008	8	89,000
固定資産合計	89,008	8	89,000
資産合計	8,817,673	5,230,805	3,586,868
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,294,431	1,318,784	3,975,647
預り金	468,509	185,728	282,781
未払消費税等	662,700	1,005,100	△ 342,400
仮受金	64,000	14,420	49,580
前受収益	45,000		45,000
流動負債合計	6,534,640	2,524,032	4,010,608
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,534,640	2,524,032	4,010,608
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	2,283,033	2,706,773	△ 423,740
正味財産合計	2,283,033	2,706,773	△ 423,740
負債及び正味財産合計	8,817,673	5,230,805	3,586,868

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益社団法人大阪介護福祉士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	51,000	△ 51,000
受取会費	7,511,000	7,163,000	348,000
正会員会費	6,006,000	5,903,000	103,000
賛助会員会費(団体会員)	1,480,000	1,235,000	245,000
賛助会員会費(個人会員)	25,000	25,000	0
事業収益	27,167,801	21,905,664	5,262,137
ファーストステップ研修	555,200	1,080,660	△ 525,460
ファンデーション研修	145,500	411,000	△ 265,500
介護技術講習会	0	7,000	△ 7,000
サービス提供責任者研修	153,000	214,000	△ 61,000
介護福祉士模擬試験	108,000	138,000	△ 30,000
介護福祉士受験対策講座	177,000	141,500	35,500
実習指導者講習会	2,472,000	1,520,000	952,000
介護教員養成研修	1,138,000	3,883,000	△ 2,745,000
認知症実践者研修	4,457,678	5,523,154	△ 1,065,476
講師派遣収入	1,366,606	326,850	1,039,756
大阪市委託事業	11,613,800	8,569,000	3,044,800
その他の研修2	193,640	42,000	151,640
その他の研修3	4,775,377	0	4,775,377
その他の研修4	12,000	49,500	△ 37,500
受取補助金等	326,606	0	326,606
日本介護福祉士会助成金	326,606	0	326,606
受取寄附金	3,970,090	2,822,800	1,147,290
雑収益	76,498	2,079,125	△ 2,002,627
受取利息	46	21	25
雑収入	76,452	2,079,104	△ 2,002,652
経常収益計	39,051,995	34,021,589	5,030,406
(2) 経常費用			
① 事業費	37,187,459	28,864,088	8,323,371
役員報酬	5,220,000	3,420,000	1,800,000
給料手当	8,579,849	5,950,522	2,629,327
福利厚生費	1,738,210	1,706,812	31,398
旅費交通費	1,163,261	978,013	185,248
通信運搬費	1,137,670	1,082,779	54,891
消耗品費	541,086	668,936	△ 127,850
印刷製本費	1,052,866	994,622	58,244
図書購読料	61,576	21,097	40,479
水道光熱費	88,951	74,900	14,051
賃借料	8,576,782	6,528,555	2,048,227
諸謝金	5,767,337	4,895,611	871,726
租税公課	1,049,057	964,590	84,467
支払手数料	296,632	285,714	10,918
広告宣伝費	559,632	238,167	321,465
会議費	296,248	82,280	213,968
諸会費・渉外費	380,176	222,814	157,362
雑費	678,126	748,676	△ 70,550

②管理費	2,218,276	1,666,260	552,016
役員報酬	580,000	380,000	200,000
給料手当	479,848	272,281	207,567
福利厚生費	140,375	134,091	6,284
旅費交通費	70,919	61,001	9,918
通信運搬費	100,026	97,641	2,385
消耗品費	38,864	44,701	△ 5,837
印刷製本費	0	6	△ 6
図書購読料	1,127	343	784
水道光熱費	8,105	6,365	1,740
賃借料	472,462	359,095	113,367
諸謝金	57,553	81,400	△ 23,847
租税公課	116,563	100,510	16,053
支払手数料	32,920	31,708	1,212
広告宣伝費	49,349	26,464	22,885
会議費	8,545	2,751	5,794
諸会費・渉外費	40,791	19,348	21,443
雑費	20,829	48,555	△ 27,726
經常費用計	39,405,735	30,530,348	8,875,387
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 353,740	3,491,241	△ 3,844,981
基本財産評価損益等	0		
特定資産評価損益等	0		
投資有価証券評価損益等	0		
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 353,740	3,491,241	△ 3,844,981
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
法人税等	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 423,740	3,421,241	△ 3,844,981
一般正味財産期首残高	2,706,773	△ 714,468	3,421,241
一般正味財産期末残高	2,283,033	2,706,773	△ 423,740
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,283,033	2,706,773	△ 423,740

正味財産増減計算書内訳書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益社団法人大阪介護福祉士会

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入金	0	0	0	0
受取会費	3,755,500	0	3,755,500	7,511,000
正会員会費	3,003,000	0	3,003,000	6,006,000
賛助会員会費(団体会員)	740,000	0	740,000	1,480,000
賛助会員会費(個人会員)	12,500	0	12,500	25,000
事業収益	26,882,801	285,000	0	27,167,801
ファーストステップ研修	555,200	0	0	555,200
ファンデーション研修	145,500	0	0	145,500
サービス提供責任者研修	153,000	0	0	153,000
介護福祉士模擬試験	0	108,000	0	108,000
介護福祉士受験対策講座	0	177,000	0	177,000
実習指導者講習会	2,472,000	0	0	2,472,000
介護教員養成研修	1,138,000	0	0	1,138,000
認知症実践者研修	4,457,678	0	0	4,457,678
講師派遣収入	1,366,606	0	0	1,366,606
その他の研修	11,613,800	0	0	11,613,800
その他の研修	193,640	0	0	193,640
その他の研修	4,775,377	0	0	4,775,377
その他の研修	12,000	0	0	12,000
受取補助金等	326,606	0	0	326,606
日本介護福祉士会助成金	326,606	0	0	326,606
受取寄附金	1,985,045	0	1,985,045	3,970,090
雑収益	40,306	33,290	2,902	76,498
受取利息	46	0	0	46
雑収入	40,260	33,290	2,902	76,452
経常収益計	32,990,258	318,290	5,743,447	39,051,995
(2) 経常費用				
① 事業費	36,741,561	445,898	0	37,187,459
役員報酬	5,162,000	58,000		5,220,000
給料手当	8,531,865	47,984		8,579,849
福利厚生費	1,723,777	14,433		1,738,210
旅費交通費	1,156,170	7,091		1,163,261
通信運搬費	1,127,298	10,372		1,137,670
消耗品費	537,200	3,886		541,086
印刷製本費	994,654	58,212		1,052,866
図書購読料	61,464	112		61,576
水道光熱費	88,141	810		88,951
賃借料	8,423,366	153,416		8,576,782
諸謝金	5,710,742	56,595		5,767,337
租税公課	1,037,401	11,656		1,049,057
支払手数料	293,121	3,511		296,632
広告宣伝費	554,698	4,934		559,632
会議費	287,792	8,456		296,248
諸会費・渉外費	376,098	4,078		380,176
雑費	675,774	2,352		678,126

②管理費	0	0	2,218,276	2,218,276
役員報酬			580,000	580,000
給料手当			479,848	479,848
福利厚生費			140,375	140,375
旅費交通費			70,919	70,919
通信運搬費			100,026	100,026
消耗品費			38,864	38,864
図書購読料			1,127	1,127
水道光熱費			8,105	8,105
賃借料			472,462	472,462
諸謝金			57,553	57,553
租税公課			116,563	116,563
支払手数料			32,920	32,920
広告宣伝費			49,349	49,349
会議費			8,545	8,545
諸会費・渉外費			40,791	40,791
雑費			20,829	20,829
経常費用計	36,741,561	445,898	2,218,276	39,405,735
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,751,303	△ 127,608	3,525,171	△ 353,740
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,751,303	△ 127,608	3,525,171	△ 353,740
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
法人税等	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,751,303	△ 197,608	3,525,171	△ 423,740
一般正味財産期首残高				2,706,773
一般正味財産期末残高				2,283,033
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				2,283,033

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産等の減価償却の方法

器具備品:定率法による減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	486,365	486,357	8
合 計	486,365	486,357	8

7. 保証債務等の偶発債務

保証債務はない。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価、及び評価損益

該当なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

11. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

12. 重要な後発事象

該当事項はない。

財 産 目 録

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手許有高	運転資金として	0
普通預金	りそな銀行 大手支店	運転資金として	2,240,554
郵便貯金		運転資金として	1,041,603
合計			3,282,157
未収入金	日本介護福祉士会	会費(5名分)	15,000
	大阪市	第4期分委託料	5,343,800
	その他		2,389
合計			5,361,189
預け金	日本介護福祉士会	受取会費5名分	15,000
合計			15,000
前払費用	致知出版	図書購買	16,625
合計			16,625
仮払金	給与過払金等	事務局員給与過払分	53,694
合計			53,694
流動資産合計			8,728,665
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			0
(2) 特定資産			
特定資産合計			0
(3) その他固定資産			
什器備品	パソコン6台		6
	机棚 1式		1
	衣装 1組		1
合計			8
差入保証金	大阪府	潜在介護福祉士等再就職支援事業	89,000
その他固定資産合計			89,008
固定資産合計			89,008
資産合計			8,817,673
1. 流動負債			
未払金	リコーリース	複合機リース料	261,800
	大塚商会	消耗品・コピー料金等	96,946
	3月研修講師謝金		1,883,286
	その他		3,052,399
合計			5,294,431
預り金	源泉所得税		188,273
	住民税		19,800
	令和4年度分会費預り金等		260,436
合計			468,509
未払消費税			662,700
仮受金	入会金・年会費過入金など		64,000
前受収益	令和4年度研修受講料	3名分	45,000
流動負債合計			6,534,640
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			6,534,640
正味財産			2,283,033

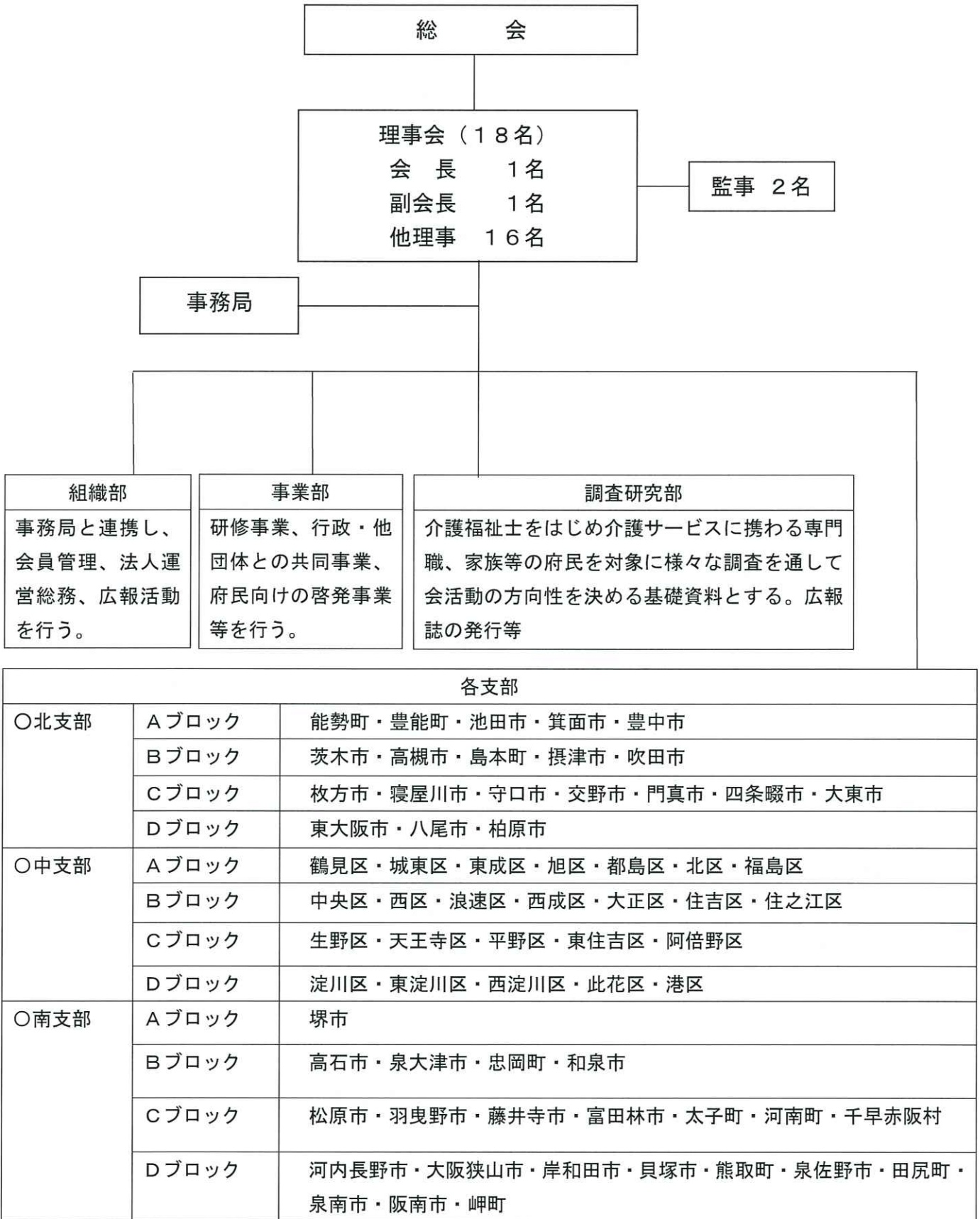
【第3号議案】 定款変更の件（案）

定款変更箇所の新旧比較表

旧	新
<p>第3章 会員</p> <p>第5条 本会に次の会員を置く。</p> <p>(1) 正会員 社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する介護福祉士であって、<u>大阪府内に居住または就業しており</u>、本会の目的に賛同して入会した者</p> <p>(2) 賛助会員 本会の事業を賛助するために入会した個人又は団体</p> <p>(3) 名誉会員 本会に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者</p>	<p>第3章 会員</p> <p>第5条 本会に次の会員を置く。</p> <p>(1) 正会員 社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する介護福祉士であって、本会の目的に賛同して入会した者</p> <p>(2) 賛助会員 本会の事業を賛助するために入会した個人又は団体</p> <p>(3) 名誉会員 本会に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者</p>

公益社団法人大阪介護福祉士会組織図

(令和4年3月31日現在)



令和4年度 公益社団法人大阪介護福祉士会 賛助会員(法人・個人)

	名 称		名 称
1	一般社団法人 日本認知症予防協会	38	社会福祉法人 おおとり福祉会
2	一般社団法人 ヘルスケア人材教育協会	39	社会福祉法人 恩賜財団済生会 介護老人保健施設 ライフケア中津
3	医療法人 育和会 介護老人保健施設 ひまわり	40	公益財団法人 介護労働安定センター 大阪支部
4	医療法人 一祐会介護老人保健施設ハーモニー	41	公益社団法人 関西シルバーサービス協会
5	医療法人 清水会 介護老人保健施設おひさま園	42	社会福祉法人 久義会 特別養護老人ホーム高秀苑
6	医療法人 清翠会 法人本部	43	社会福祉法人 恵生会
7	医療法人 徳洲会 介護老人保健施設松原徳洲苑	44	社会福祉法人 慶徳会
8	医療法人 はあとふる 介護老人保健施設 悠々亭	45	社会福祉法人 健成会 特別養護老人ホーム加賀屋の森
9	大阪市厚生療育センター	46	社会福祉法人 功德会特別養護老人ホーム にちげつの光
10	学校法人 大屋学園 関西社会福祉専門学校	47	社会福祉法人 桜会
11	学校法人 鴻池学院 鴻池生活科学専門学校	48	社会福祉法人 さつき会
12	学校法人 国際学園 星槎国際高等学校	49	社会福祉法人 治栄会
13	学校法人 四天王寺学園 四天王寺大学短期大学部	50	社会福祉法人 四恩学園
14	学校法人 誠優学園 大阪社会福祉専門学校	51	社会福祉法人 成晃会 摂津特養 ひかり
15	学校法人 田島学園 近畿社会福祉専門学校	52	社会福祉法人 玉美福祉会
16	学校法人 箕面学園 箕面学園福祉保育専門学校	53	社会福祉法人 帝塚山福祉会
17	学校法人 村上学園東大阪大学短期大学部	54	社会福祉法人 天寿会
18	学校法人 夕陽丘学院 大阪国際福祉専門学校	55	社会福祉法人 天寿会特別養護老人ホーム ひびきの郷
19	学校法人 淀之水学院 昇陽高等学校	56	社会福祉法人 南海福祉事業会 南海福祉看護専門学校
20	株式会社 ウィズ	57	社会福祉法人 上神谷福祉会特別養護老人ホーム 槇塚荘
21	株式会社 ウェル・ネット研究所	58	社会福祉法人キリスト教 ミッド社会館大阪コミュニティワーカー専門学校
22	株式会社 大阪ホームケアサービス	59	社会福祉法人 みらい福祉会 特別養護老人ホーム みらい
23	株式会社 グリーンケア らくゆう会	60	社会福祉法人 八尾隣保館
24	株式会社 グロリア21	61	社会福祉法人 隆生福祉会
25	株式会社 ねこの手	62	新光産業株式会社
26	株式会社 ミラテック	63	総合メディカル株式会社
27	株式会社 ResourcesCreation	64	大和ハウス工業株式会社
28	貴生病院	65	田中ビジネスサポート株式会社
29	恵ケアホームサービス	66	中央法規出版株式会社 大阪営業所
30	社会福祉法人 逢花 特別養護老人ホーム きずり逢花	67	東洋羽毛関西販売株式会社
31	社会医療法人 栄公会	68	特定非営利活動法人 すみれ
32	社会福祉法人 エージングライフ福祉会	69	バリアフリーカー・コンサルタント
33	公益社団法人 大阪介護支援専門員協会	70	丸大食品 株式会社
34	社会福祉法人 大阪自彊館	71	有限会社 看護の科学社 (休会)
35	社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会	個人賛助会員	
36	公益社団法人 大阪社会福祉士会	1.川井 太加子 2.三好 このみ 3.飯野 矢住代	
37	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	4.森本 信之 5.西尾 勝成	

公益社団法人 大阪介護福祉士会

参加無料

令和4年 定時社員総会

記念講演

「個別支援計画を考える」
～ユニットケアの取り組みを通して～

日時：令和4年6月11日（土）

15時15分～16時45分

講師：一般社団法人日本ユニットケア推進センター

センター長 佐橋 麻理子 氏

日本介護福祉士会倫理綱領

1995年11月17日宣言

前文

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、住み慣れた地域において安心して老いることができ、そして暮らし続けていくことのできる社会の実現を願っています。

そのため、私たち日本介護福祉士会は、一人ひとりの心豊かな暮らしを支える介護福祉の専門職として、ここに倫理綱領を定め、自らの専門的知識・技術及び倫理的自覚をもって最善の介護福祉サービスの提供に努めます。

(利用者本位、自立支援)

1. 介護福祉士はすべての人々の基本的人権を擁護し、一人ひとりの住民が心豊かな暮らしと老後が送れるよう利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供していきます。

(専門的サービスの提供)

2. 介護福祉士は、常に専門的知識・技術の研鑽に励むとともに、豊かな感性と的確な判断力を培い、深い洞察力をもって専門的サービスの提供に努めます。

また、介護福祉士は、介護福祉サービスの質的向上に努め、自己の実施した介護福祉サービスについては、常に専門職としての責任を負います。

(プライバシーの保護)

3. 介護福祉士は、プライバシーを保護するため、職務上知り得た個人の情報を守ります。

(総合的サービスの提供と積極的な連携、協力)

4. 介護福祉士は、利用者には最適なサービスを総合的に提供していくため、福祉、医療、保健その他関連する業務に従事する者と積極的な連携を図り、協力して行動します。

(利用者ニーズの代弁)

5. 介護福祉士は、暮らしを支える視点から利用者の真のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割であると確認したうえで、考え、行動します。

(地域福祉の推進)

6. 介護福祉士は、地域において生じる介護問題を解決していくために、専門職として常に積極的な態度で住民と接し、介護問題に対する深い理解が得られるよう努めるとともに、その介護力の強化に協力していきます。

(後継者の育成)

7. 介護福祉士は、すべての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できるように、介護福祉士に関する教育水準の向上と後継者の育成に力を注ぎます。

公益社団法人 大阪介護福祉士会

事務局 〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15
大阪府社会福祉会館3階

電話 06-6766-3633

FAX 06-6766-3632

e-mail info@kaigo-osaka.jp

URL <http://kaigo-osaka.jp>

